

⑤森林管理円滑化対策研修 中国ブロック実施報告書

- 1 日程・研修場所 令和元年11月27日(水)～11月29日(金)
研修会場:新見商工会館(岡山県新見市)
現場視察:皆伐再造林一貫施業システムの現地(新見市哲西町)

- 2 研修受講者数:13名 [男性:11名 女性:2名]

(県職員6名、市町村職員5名、団体2名)

兵庫県	1名	鳥取県	5名	島根県	3名	岡山県	3名
広島県	1名						

途中欠席者数:1名(1日目:1名、2日目:1名)

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目は、開講式・オリエンテーションにおいて、研修の成果と目標を全体で共有した。
・「森林経営管理制度の概要と現状」について、林野庁の担当者からの講義後、各道県から当該制度への取組の現状と課題について発表があり、その後、質疑が行われた。

・2日目は、「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」では、最初に岡山県新見市森林組合職員からパワーポイントにより事業体の概要、事業への取り組みについて説明があった。その後、一貫施業、森林整備を行った現地へ移動し現地で施業の説明を受けた。研修会場に帰り、質疑応答が行われた。また、施業で使われたコンテナ苗(ヒノキ)について実物を見ながら新見市森林組合から説明を受けた。

・午後から、「経営管理権集積計画の作成」について、林野庁担当者からの講義が行われ、質疑が行われた。

「経営管理権集積計画演習」では各県に分かれて発表し、その後、質疑が行われた。

・最終日は、森林総合研究所の外部講師による「市町村森林経営管理事業のための森林施業」の講義が行われ、目標とすべき林型、更新方法、複層林・混交林等に関する技術や、その問題点・課題について説明があった。その後、先進市町村の取組事例として岡山県西粟倉村の職員から「百年の森構想」のビジョン、10年間の取り組みについて説明があったほか、研修全体を通じた制度に関する留意事項が示され、質疑応答がなされた。

・各日の最後には、受講生がその日一日に実施した内容をふりかえる時間を設けたが、熱心にふりかえりシートに書き込む姿が見受けられた。

・質問や意見も積極的に行われ、本研修を無事修了することができた。

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・座席はスクール形式としたが、県単位で協議しやすいように、同じ道県の研修生が隣接するように配置した。

・2日目午前中の「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」の研修は、片道30分程度で移動が出来る一貫施業による植栽地、間伐地が隣接する施業地にした。また、コンテナ苗の実物を受講生に見てもらい、実際の根張りなど直接触れて見てもらった。

・名札は、それぞれの役割が分かるように、研修生、講師、事務局の3種類で色を変えて作成した。

4 記録写真



林野庁開講挨拶



【講義】森林経営管理制度の概要と現状：1日目
・林野庁による講義



【発表及び意見交換】都道府県における制度取組の現状と課題：1日目
・受講生の発表



【現場視察・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換（外部講師／新見市森林組合（岡山県））：2日目
・新見市森林組合の取り組みの説明



【現場視察・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換：2日目
・皆伐再造林－貫作業システムを実施した現場において説明



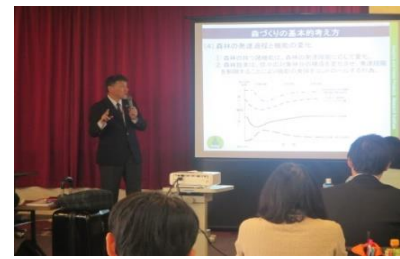
【現場視察・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換：2日目
・一貫作業で用いられるコンテナ苗（ヒノキ）の説明



【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換：2日目
・事業者との質疑応答



【講義】「経営管理権集積計画の作成」の講義：2日目
・林野庁による講義



【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業（外部講師／佐藤保・森林総合研究所林業研究部門森林植生研究領域長）：3日目



【講義・意見交換】先進市町村の取組事例（外部講師／豊福靖宏・西粟倉村役場産業観光課）：3日目



総括・留意事項の時間での質疑応答：3日目



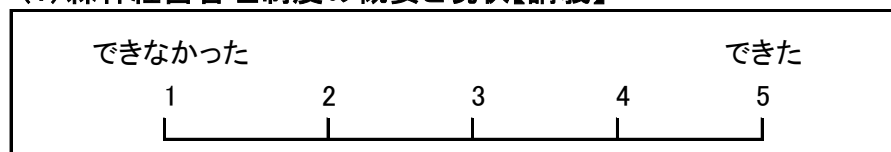
ふりかえり：3日目

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 中国ブロック アンケート集計結果

回収率： 13名 / 13名 (100%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

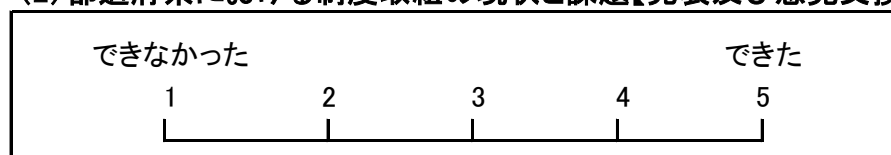
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均： 4.3

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名)
- 4 (6名) 意向調査方法や所有者への説明会内容を提示していただけるとより分かりやすい
- 5 (5名) Q&Aの解説時間がしっかりとられていて分かりやすかった／疑問も参考になった

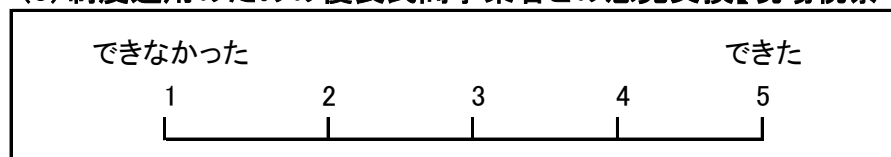
(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】



平均： 4.3

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (2名) 他市町村と足並みを揃えて制度を進めて行きたい
- 4 (5名) 新しい繋がりができ、これから意向調査を行うにあたり助けになると思う
- 5 (5名) 他県や他市町村の現状や課題を聞くことができ参考になった

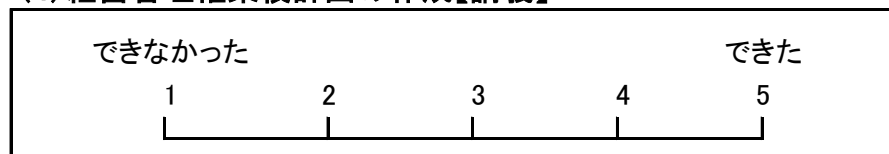
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】



平均： 4.5

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名) 林業を持続的に進めていくには、地元で根を張ることが必要だと感じた
- 4 (4名) 森林組合が地域貢献を考えていることが理解できた
- 5 (7名) 事業者と現場で意見交換をすることで、大変勉強になった

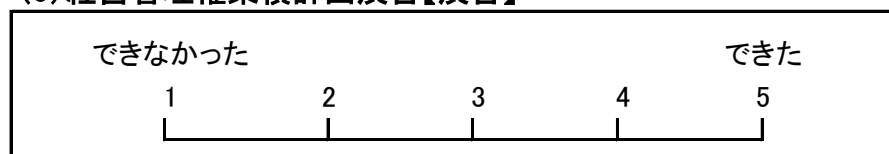
(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】



平均: 4.6

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (5 名) 集積計画作成の流れを復習できた／作成時に疑問に思った記入方法等を理解できた
- 5 (7 名) 手引きについてポイントを説明してもらい分かりやすかった

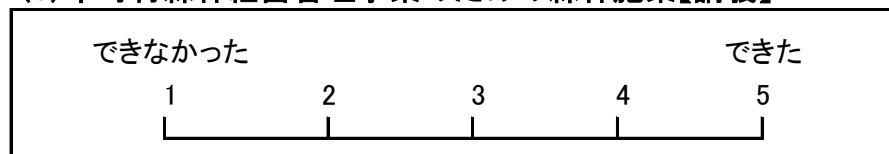
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均: 4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (0 名)
- 4 (8 名) 各県の制度進捗状況も踏まえて理解することができた
- 5 (4 名) 課題と問題を整理し、修正する方向が分かった

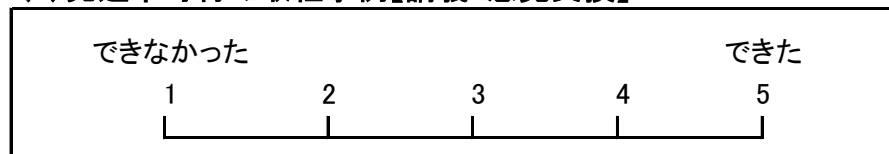
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均: 4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名)
- 4 (4 名) 市町村管理の手法として広葉樹林化に必要な考え、手法を知ることができた
- 5 (7 名) 広葉樹林化施業を行う上で、注意するポイントを知ることができたので良かった

(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均: 4.4

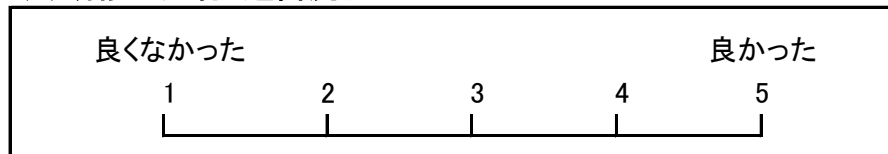
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (1 名)
- 4 (5 名) 県内の市町村でも考え方等参考可能な部分があったと思った
- 5 (6 名) 制度の向かうべき方向を実感することができた

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（10名）
 2：できていない（2名） 研修参加の連絡や事前課題への周知が遅かった

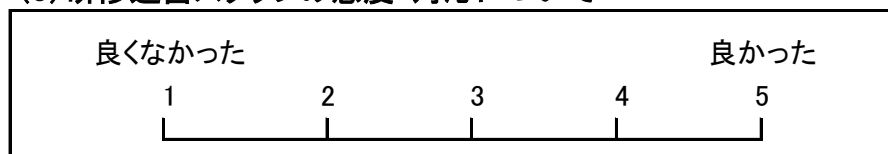
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.2

- 1（0名）
 2（0名）
 3（2名）
 4（7名） 時間配分を考え、スムーズな進行・運営をしていただけた
 5（4名） 時間通り進められて良かった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.5

- 1（0名）
 2（0名）
 3（0名）
 4（7名） 丁寧に対応頂いたと思う／色々な心遣いをしていただき感謝
 5（6名） 適切なタイミングでフォローがあり助かった

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 今回のような研修を継続していただければと思う
- ・ 意向調査手法についての講義があると良い
- ・ 集約化の実務を深めた内容の研修
- ・ 集積後の実施権の作成方法
- ・ 進捗に合った段階毎の研修があると有難い
- ・ 制度の進捗に合わせて、各自治体の取組状況を紹介
- ・ 市町村担当者は次々と変わっていくので、市町村向けの研修を毎年開催してほしい
- ・ 市町村職員は数年で異動し、林務について全く知識の無い職員も担当する。各市町村で引継ぎをすべきと思うが、難しい状況のため、初任者研修があれば助かる（都道府県主催でも良い）と思う
- ・ 森林初心者（林業資格のない人）が理解しやすい研修
- ・ GISを使用して対象森林の絞り込み方の講義をしてほしい
- ・ 事業を加速化していく施業の提案
- ・ 他会場も含めたQ&A
- ・ 簡単なQにも電話やメールで教えてくれる総合的なサポートがほしい

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 良く考えられた研修内容だったと思う
- ・ 3日間、少人数でこれぐらいの規模の研修が丁度良い
- ・ 新見市森林組合の現場視察と講義
- ・ 組合の取組状況を聞けたので、他事業体からの話も聞いてみたい
- ・ 現場の声が聞けたことが良かった
- ・ 針広混交林化を安易に考えていたので担当部署でもう一度協議したいと思う
- ・ 演習の時間がもう少しあればもっと良いと思った

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(1 名)	制度内容は中央研修でも講義されていたので講義時間を調整しても良い
80点台	(4 名)	事前課題の準備にもう少し時間がほしかい
90点台	(3 名)	現地が物足りない、意向調査に関する内容もほしい
100点	(4 名)	

平均： 89 点

⑥森林管理円滑化対策研修 四国ブロック実施報告書

- 1 日程・研修場所 令和元年11月6日(水)～11月8日(金)
研修会場 徳島県東部農林水産局(徳島県徳島市)
とくぎんトモニプラザ(徳島県徳島市)
ホテルグランドパレス(徳島県徳島市)

- 2 研修受講者数:22名 [男性:20名 女性:2名]
(県職員13名、市町村職員8名、団体1名)

徳島県	9名	香川県	1名	愛媛県	7名	高知県	4名
奈良県	1名						

途中欠席者数:4名(2日目:2名、3日目:4名)

3 研修実施概要

○予定どおり全カリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目は、開講式・オリエンテーションにおいて、研修の成果と目標を全体で共有した。
・「森林経営管理制度の概要と現状」について、林野庁の担当者からの講義後、各県から当該制度への取組の現状と課題について発表があり、その後、質疑や意見交換が行われた。

・2日目は、午前中に実施した「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」では、民間事業者の代表理事が木質チップ生産事業やペレット生産事業の概要・エコサイクルへの取組状況について、パワーポイントを使用して研修生に紹介した。講義終了後、人員確保や雇用形態などについて民間事業者への質疑・意見交換が行われた。終了後は、「経営管理権集積計画の作成」に関する講義を実施後、当該計画策定に係る演習が行われ、発表や質疑があった。

・最終日は、森林総合研究所の外部講師による「市町村森林経営管理事業のための森林施業」の講義が行われ、目標とすべき林型、更新方法、複層林・混交林等に関する技術や、その問題点・課題について説明があった。その後、先進市町村の取組事例として那賀郡那賀町、美馬市やましごと工場の両職員から「森林経営管理制度」の取り組みやサポートセンター・団体設立の経緯、ビジョン等について説明があったほか、意向調査業務の現状等、研修全体を通じた制度に関する留意事項が示され、質疑応答がなされた。

・各日の最後には、受講生がその日一日に実施した内容をふりかえる時間を設けたが、熱心にふりかえりシートに書き込む姿が見受けられた。

・質問や意見も積極的に行われ、本研修を無事修了することができた。

○今回の研修で工夫したこと

[工夫点]

・座席はスクール形式としたが、県単位で協議しやすいように、同じ県の研修生が隣接するように配置した。

・2日目午前中の「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」の研修は、当初、会社を訪問し作業現場を視察する予定であったが、事前調査の結果、移動時間だけで往復2時間程度を要することから、民間事業者と協議し、効率的な研修を実施する観点から、講師の方に研修会場に来ていただいて意見交換する方法に変更した。

4 記録写真



林野庁開講挨拶と【講義】森林経営管理制度の概要と現状：1日目



【発表及び意見交換】県における制度取組の現状と課題：1日目
・受講生による発表



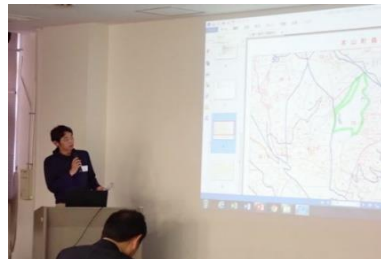
【発表及び意見交換】県における制度取組の現状と課題：1日目
・発表に対して質問する受講生



【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換(外部講師／つるぎ木材加工協同組合(徳島県))：2日目



【講義】経営管理権集積計画の作成：2日目
・林野庁講師による講義



【演習】経営管理権集積計画演習：2日目
・受講生による課題の発表



【講義】市町村森林経営管理事業のための森林施業(外部講師／佐藤保・森林総合研究所林業研究部門森林植生研究領域長)：3日目



【講義・意見交換】先進市町村の取組事例①(外部講師／橋本浩志・那賀町(徳島県))：3日目



【講義・意見交換】先進市町村の取組事例②(外部講師／工藤剛生・徳島県西部総合県民局(美馬)やましごと工房担当者)：3日目



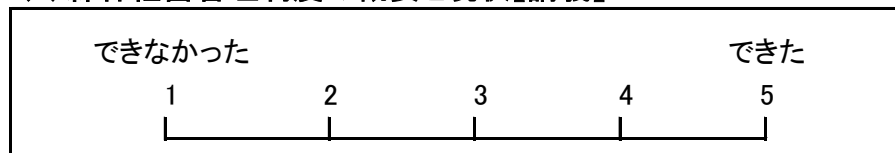
総括・留意事項の時間での質疑応答：3日目

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 四国ブロック アンケート集計結果

回収率： 18名 / 22名 (82%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

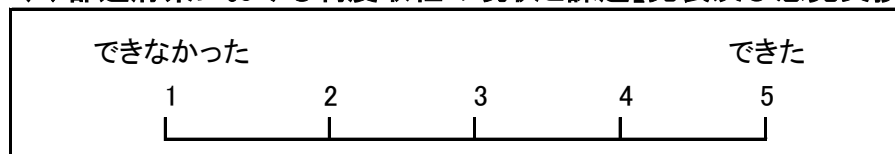
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均：4.3

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名) 改めて復習となった
- 4 (10名) 大まかな概要と現状を理解・認識できた／他の自治体の事例は参考になった
- 5 (7名) 質問へ一つ一つ答えていただき、非常に分かりやすかった

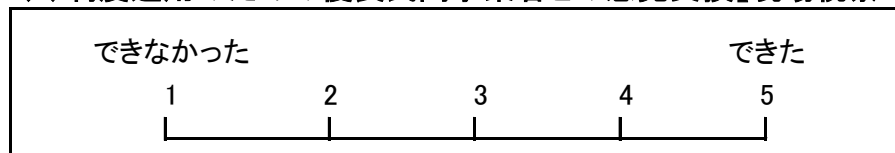
(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】



平均：4.1

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (4名) 各県で取り組みの進展に差があることが分かった
- 4 (9名) 全国の自治体の事例集等があると業務の参考になると思われる
- 5 (5名) 各市町の取組内容やどのような課題を抱えているのかを知り大変参考になった

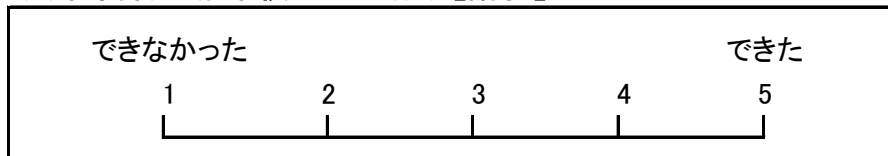
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】



平均：4.4

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名) 思いが伝わってきた
- 4 (8名) 一貫施業での工夫、取り組みの経緯・意識を聞いて参考になった
- 5 (9名) 取組事例には参考とすべき点が大いにあった

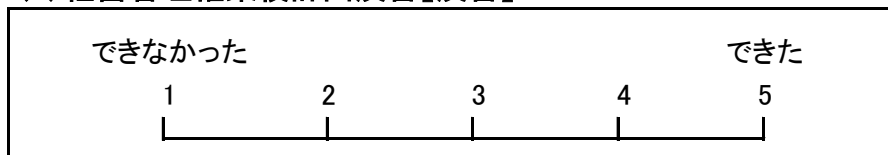
(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】



平均: 3.9

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 多くのパターンで試行を繰り返す必要があると感じた
- 3 (4 名) 実際にやってみないと分からないことが多かった
- 4 (8 名) 配分計画等の先の内容にも触れてほしかった／要点がまとまって良かった
- 5 (5 名) 細かい説明をいただけて理解が深まった／計画作成の留意事項が再認識できた

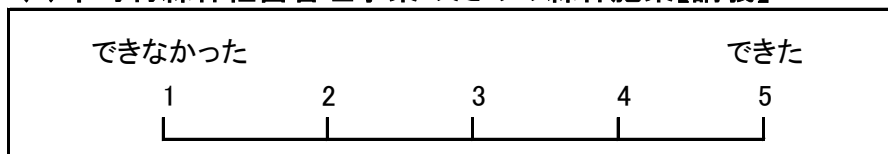
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均: 3.8

- 1 (0 名)
- 2 (1 名) 情報が多く、まだ整理できていない
- 3 (5 名) モデル的に同じ場所を受講生同士で作成してみても良いのではないかと思った
- 4 (7 名) アンケート調査の段階からを想定して作成すると良いと思う／より理解が進んだ
- 5 (4 名) 色々な考えで取り組みながら集積計画を作っており参考となった

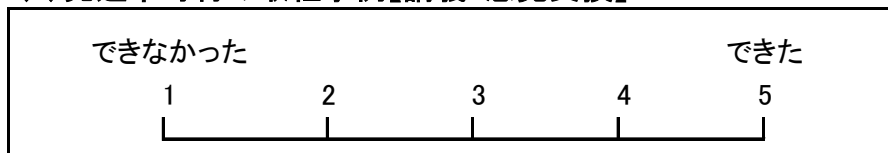
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均: 4.2

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 天然更新により混交複層林に誘導することの難しさは理解した
- 4 (9 名) 前生稚樹の重要性を感じ、地域の特性に合わせた取り組みが必要だと思う
- 5 (6 名) 広葉樹林化への理解が深まったが、天然更新完了基準の運用について疑問が残る

(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均: 4.4

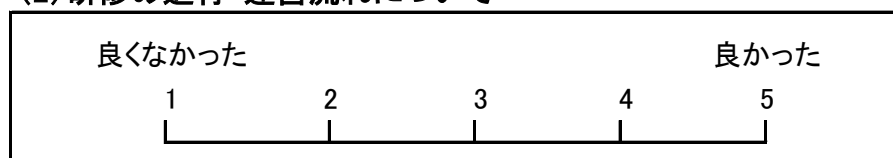
- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (2 名) 制度を現場に落とし込み、将来に向けての課題を洗い出していることを知れた
- 4 (7 名) 意向調査や計画策定を実際の施業に繋げていけるか課題であることを改めて感じた
- 5 (9 名) 今やっていることなので実感が沸いた。帰って地元市に参考として情報提供したい

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

- 1：できていた（16名）
2：できていない（2名） 会場やカリキュラムの急な変更が多かったため

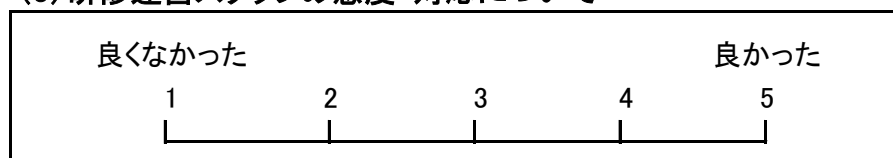
(2) 研修の進行・運営流れについて



平均：4.1

- 1（0名）
2（0名）
3（4名） 時間管理は厳格な方が良いと思う
4（9名） 少しトイレ休憩が欲しいコマがあった／プログラム毎の内容は問題なかった
5（5名） 進行・運営等スムーズにできていた／目的に合った運営となっていた

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



平均：4.5

- 1（0名）
2（0名）
3（1名） 概ね良いと思う
4（7名） 丁寧で良かった
5（10名） 隅々までケアしていただき助かった

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 制度が活用され進んでいけば、事例も増えるので色々と聞いてみたい
- ・ 制度がもう少し進み問題が多く出てきた頃に、同じ目的の研修をするとより実感がわき、分かりやすいと思う
- ・ 今後、制度の運用を進めるにあたって発生した課題や問題点等を取りまとめ、実際にどのような対処をしているのか、どう対処すべきか等の研修をしていただきたい
- ・ 他県や他市町村の事例の情報提供、運用後の定期的なQ&Aの研修
- ・ 実際に進めてトラブル等のあった県市町村の事例も聞かせてほしい
- ・ 経営管理制度の事例等をまとめて、内容等を説明していただけるような研修
- ・ 市町村職員対象の実務研修
- ・ 実際に運用していく市町村担当者に積極的にご参加いただき、事例も踏まえた研修に参加したい
- ・ 県ごとに進み具合も違うため難しいが、自県としては、まだ集積計画の段階ではなく、意向調査に向けた市町担当者向けの研修が必要と感じた
- ・ 各ブロックでの市町村職員向けの研修を開催してほしい。東京で開催されているが、遠方まで向かう必要があるため、市町村は前向きに検討できない

- ・ 新たな森林管理システムの運用において、実際に集積～施業まで至った団体の講演
- ・ 現地視察
- ・ 集積計画作成以後のプランニングや配分計画に至るまでの演習等
- ・ その後の配分計画などの実務研修
- ・ 譲与税の使道・判断基準に関する情報共有で、オンライン会議でできると良い

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 目的に合った良い研修であったと思う。引き続き、情報の提供をお願いしたい
- ・ 担当が1名の町村職員には大変参考になり、安心もできた
- ・ 2日目の民間事業体の講義が印象に残った。現場で働く人の意見をもっと聞きたい
- ・ 事業体の講義
- ・ 全体講義を通して、森づくりは100年の話であり、理想とする目標を掲げ、次世代につながる。そして、担当者で取り組む、また、所有者・地域を巻き込んで行う必要があると感じた
- ・ 三間先生が我々の立場に立って対応していただいたことに感謝
- ・ 疑問、不安、課題の共有という点で、次回開催を期待したい
- ・ 経営管理集積計画を手引き等だけで課題を考えたり、作成したりするのは難しかった
- ・ 研修時、出席者の名刺のコピーをいただければ良かった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(3 名)	内容が盛りだくさん、論点を絞って集中、実務研修にした方が良い
80点台	(4 名)	時間管理と研修場所の統一
90点台	(5 名)	先進地市町村の取組について、市町村担当者の声も聞きたかった
100点	(5 名)	

平均： 88 点

⑦森林管理円滑化対策研修 九州ブロック実施報告書

- 1 日程・研修場所 令和元年10月23日(水)～10月25日(金)
研修会場 熊本市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本県熊本市中央区)

- 2 研修受講者数:22名 [男性:21名 女性:1名]
(県職員12名、市町村職員3名、団体7名)

福岡県	3名	長崎県	3名	熊本県	6名	大分県	6名
宮崎県	1名	鹿児島県	3名				

途中欠席者数:1名(2日目:1名)

3 研修実施概要

○予定どおりカリキュラムを修了

○研修運営状況、研修生の様子など

・1日目は、中山昌弘 林野庁森林整備部森林利用課森林集積推進室課長補佐が開校式の挨拶を行い、カリキュラムに沿って研修が行われた。まずは、「森林経営管理制度の概要と現状」について、室木直樹 企画係長の講義が行われ、10分の休憩をはさみ各都道府県における制度の取り組みの現状と課題について発表が行われた。

・2日目は、優良民間事業者である上球磨森林組合による「組合の概要や取り組み状況」について講義が行われ、活発な質疑応答があった。午後からは、「経営管理集積計画の作成」について室木係長から説明があった。さらには、「森林環境税及び森林環境譲与税」について中山課長補佐が、本税についてのこれまでの流れや取り組み事例の紹介などを説明。その後、事前課題として提出した集積計画の演習資料を使い各県代表1名ずつ発表させ、意見交換を行う。

・3日目は、外部講師:農学博士の佐藤保 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業研究部門 森林植生研究領域長が「市町村森林経営管理事業のための森林施業」と題し、森づくりの理念や広葉樹林の考え方、複層林を作る場合の考え方などについて講義が行われた。

次に、市町村の事例として南関町について、町担当者に代わり中田靖彦 熊本県農林水産部 森林局 森林整備課主任技師が概要説明を行い、引き続き、同町及び和水町の森林集約を担当した、田代秀一郎、生山敬之、玉名地域森林施業集約化促進協議会が4年前から実施してきた意向調査での苦労話や、問題点、などのついて説明し、活発な質疑応答が行われた。

○今回の研修で工夫したこと

・研修生の不安点や、想定される問題点、疑問点を、いかに引き出すか。また、それに対する改善策をいかに見出せるかを検討してもらう。

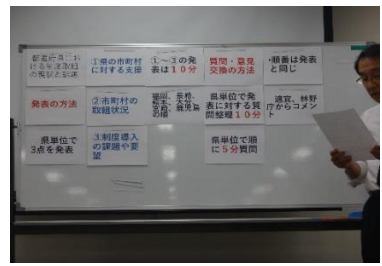
4 記録写真



林野庁開講挨拶



【講義】森林経営管理制度の概要と現状：1日目
・林野庁講師による講義



【発表および意見交換】都道府県における制度取組の現状と課題：1日目
・研修概要と進め方の説明



【発表および意見交換】都道府県における制度取組の現状と課題：1日目
・受講生による発表



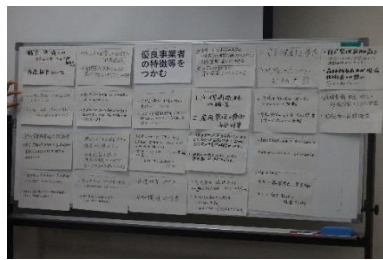
【発表および意見交換】都道府県における制度取組の現状と課題：1日目
・県単位で発表に対する質問整理



【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換(外部講師/上球磨森林組合(熊本県))：2日目



【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換：2日目
・受講生からの質問



【講義・意見交換】制度運用のための優良民間事業者との意見交換：2日目
・受講生が抱いた事業体の印象



【講義】市町村森林経営管理集積のための森林施業(外部講師/佐藤保・国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所森林植生研究領域長)：3日目



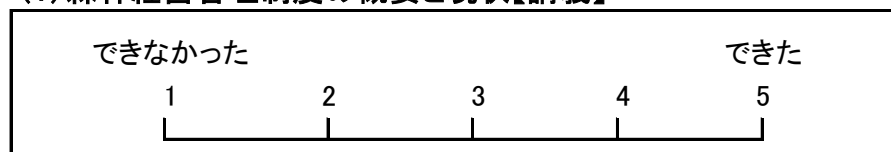
【講義・意見交換】先進市町村の取組事例(外部講師/玉名地域森林施業集約化促進協議会(熊本県))：3日目

森林管理円滑化対策研修(ブロック研修) 九州ブロック アンケート集計結果

回収率： 21名 / 22名 (95%)

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

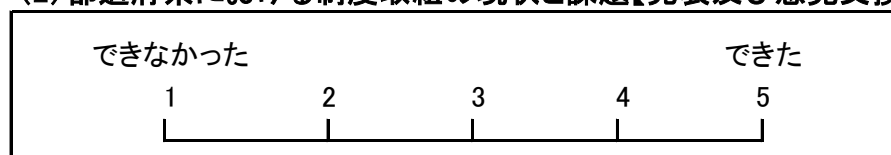
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】



平均： 4.3

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (1名) 分かりやすかった
- 4 (12名) 全体の流れを掴めた／事例と質問に対する回答は参考になった
- 5 (8名) 所有者不明土地等の問題の検討状況が伺えて良かった／疑問な部分が解決できた

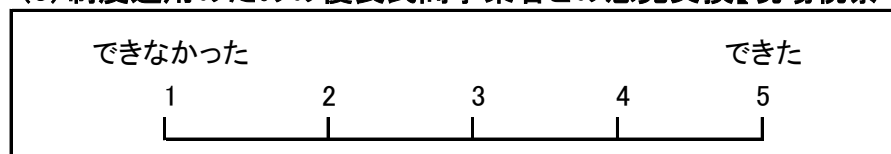
(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】



平均： 4.2

- 1 (0名)
- 2 (0名)
- 3 (4名) 意見交換の時間がもう少し欲しかった／各県、課題は共通していることが分かった
- 4 (8名) 他県の取組例や各県の質疑応答が大変参考になった
- 5 (9名) 他県のアドバイザーの状況を知ることができた

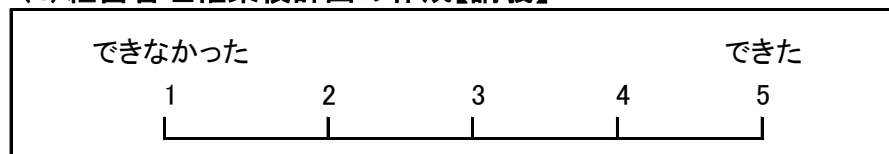
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】



平均： 4.5

- 1 (0名)
- 2 (1名) 自県の森林組合も同様に取り組んでいる内容であった
- 3 (2名) 地域における組合の役割等をもう少し深く説明して欲しかった
- 4 (3名) 作業工程の見直しや再生林の取組等、とても参考になった
- 5 (14名) 「意欲」と「能力」のある事業者の実例で非常に参考になった

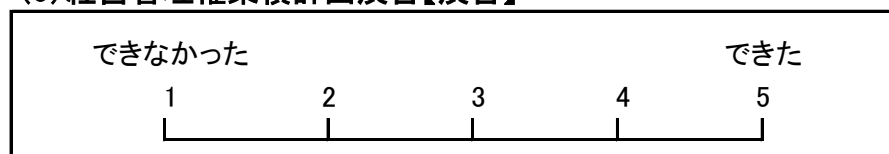
(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】



平均: 3.9

- 1 (0 名)
- 2 (2 名) 難しく、経験が必要と感じた／事例を参考として取り組んでいきたい
- 3 (5 名) 集積計画について深く理解していなかったことに気付いた
- 4 (7 名) まだまだ手引きを読み込む必要があると感じた／詳細が理解できた
- 5 (6 名) 勘違い、理解不足の部分を改めることができた／計画作成の実務のヒントになった

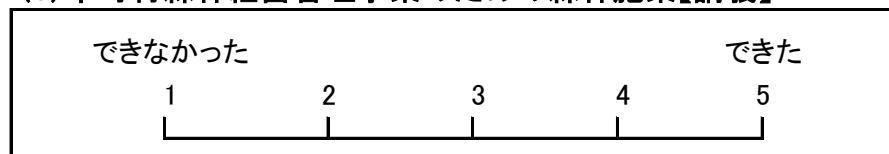
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】



平均: 3.6

- 1 (1 名) 立場上、使用できる情報に制約が多く、実務ができず残念であった
- 2 (2 名) 取組内容を地域の実情に合わせてどのように記載すべきか難しい部分がある
- 3 (6 名) まだ計画立案に対して実感がわからない／各県の取組状況が分かり、勉強になった
- 4 (4 名) 実際作成でき参考になった／自分が作成した事例の不備を教えていただき良かった
- 5 (6 名) 各県の考えを知る良い機会となった／実践演習で課題が見えてきて良かった

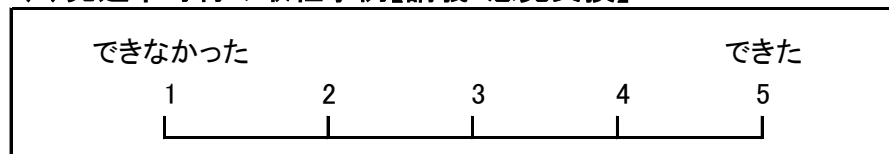
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】



平均: 4.4

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (3 名) 大変分かりやすかった
- 4 (6 名) 針広混交林への誘導の難しさが理解できた
- 5 (11 名) 森づくりの考え方、広葉樹林化について理解することができた／分かりやすかった

(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】



平均: 4.3

- 1 (0 名)
- 2 (0 名)
- 3 (4 名) 具体例を整理しておけばより良かった／苦労話を聞くことができ今後の参考になった
- 4 (7 名) 意向調査と集約化の難しさが伝わってきた
- 5 (10 名) 意向調査実施の際のポイント等を伺えて非常に参考になった／早速指導に活かしたい

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

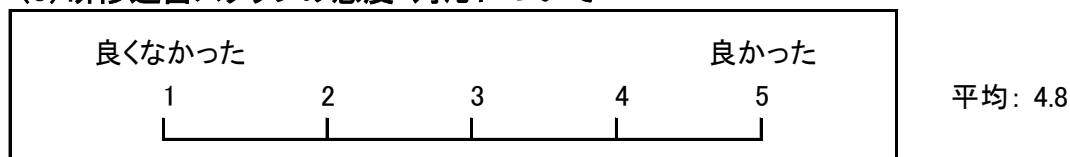
- 1：できていた（18名）
2：できていない（3名） 意見交換会の連絡をもう少し早くお願いしたい

(2) 研修の進行・運営流れについて



- 1（0名）
2（0名）
3（1名） 演習の課題の出し方をもう少し工夫した方が良かった
4（7名） 進行が分かりやすかった
5（13名） 運営側からも質問や補足があり、理解の役に立った／スムーズな運営だった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について



- 1（0名）
2（0名）
3（0名）
4（5名）
5（16名） 親切・丁寧で、アットホームな雰囲気で良かった

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・ 本研修を継続的に実施していただければ有難い
- ・ 同様な内容でも繰り返し研修してほしい
- ・ 意向調査や計画作成の模擬演習をその場で行う研修
- ・ 意向調査の事例（成功・失敗・工夫すべき点等）
- ・ 意向調査の回答の利用方法の研修
- ・ 市町村職員への継続的な研修
- ・ 市町職員向けの森林経営管理制度、事例共有の研修
- ・ 地域課題の質問が出てくるため、市町村職員を対象とした研修
- ・ 各市町村を対象とした、県単位でのフォローアップ研修
- ・ 国県の職員も含めて、各市町村の課題に対して解決方法等を話し合う等研修
- ・ 今年度の各県の取組結果を受けて、来年度の実践後の課題を出し合い、互いに検討する機会があったら良い
- ・ 年度ごとの実績がでてきた時点での検討する機会があれば良い
- ・ 各種様式（アンケート・結果等も含む）が盛り込まれた先進の実例集が欲しい
- ・ 経営管理集積計画の演習・実地調査

- ・ 実施権を結んだ後の事務処理についてまだ見えてないため、その点の研修内容が欲しい
- ・ 岩下氏のQGISの活用術の研修
- ・ 環境税を使った事業の内容（具体的な仕様書）が知りたい
- ・ 立木評価に関する研修
- ・ 法律相談

(5)その他、自由に感想をお聞かせ下さい。

(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・ 全体的に大変有意義な内容の研修だった
- ・ 国の考え、方針が直接聞くことが有益だった
- ・ 他県の先進事例がすごい、自習性がありレベルが高い
- ・ 実際に先進的に取り組んでいる事例が参考になった
- ・ 上球磨森林組合の講義が一番驚きがあった。林業が成立していた
- ・ 経営管理集積計画演習は、担当者の声が聞けて問題点が分かった
- ・ 市町村森林経営管理事業のための森林施業
- ・ 広葉樹林化に関する講義
- ・ 玉名協議会の講義
- ・ 他ブロックの演習や回答集等も参考にいただきたい
- ・ 他ブロックの事例、情報も可能な範囲で提供いただきたい
- ・ 少し時間的余裕が欲しい
- ・ 今回は林野庁の方が現場のことを理解していただいているようなので嬉しかったが、その他、「～してほしい」とった林野庁の思いが語られることがあるが、その部分に本当の問題を抱いていてなかなか現場の本当の声が伝わらない。制度運用に無理があると感じた時は適切な対処をしてほしい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

40点未満	(0 名)	
40点台	(0 名)	
50点台	(0 名)	
60点台	(0 名)	
70点台	(1 名)	時期を考慮してほしい／演習はその時作成するのでも良いと思った
80点台	(6 名)	グループ討議も入れた方が良い
90点台	(7 名)	休み時間がもう少しほしい／集積計画の演習を拡充してほしい
100点	(7 名)	

平均： 90 点